7/9 朝日

安倍元首相撃たれ死亡

参院選 街頭演説中

宗教団体に恨み 容疑者「安倍氏とつながり」

8日午前11時32分ごろ、奈良市西大寺東町2丁目の近鉄大和西大寺駅前の路上で、街頭演説中の安倍晋三元首相(67)が背後から近づいた男に銃で撃たれた。安倍氏はドクターヘリで奈良県橿原市の県立医科大学付属病院に搬送されたが、同日午後5時3分に死亡が確認された。撃った男は現場近くで警察官によって身柄を確保され、路上から黒色のテープで巻かれた銃が押収された。

奈良県警によると、男は奈良市大宮町3丁目の無職、山上徹也容疑者(41)で、県警は安倍氏に対する殺人未遂容疑で現行犯逮捕した。容疑を認めているという。今後、殺人容疑に切り替えて捜査する。

県警によると、山上容疑者は「特定の団体に恨みがあり、安倍氏とつながりがあると思い込んで犯行に及んだ」という趣旨の供述をしている。一方で「(安倍氏の)政治信条に恨みはない」とも話しているという。捜査関係者によると、山上容疑者が挙げたのは宗教団体だという。

県警によると、犯行に使われた銃は手製のもので、長さ約40㌢、高さ約20㌢。

●事件の直前、演説する安倍晋三元首相＝8日午前11時29分
●SPらに確保される山上徹也容疑者。良完には犯行に使用されたとみられる銃のようなものが落ちていた＝午前11時30分、いずれも奈良市、上田真美撮影

県警は自宅を家宅捜索し、よく似た手製の銃のようなものを数丁押収した。

防衛省は山上容疑者と同姓同名で同じ生年月日の人物が、2002～05年の3年間、海上自衛隊に任期制の自衛官として在籍していたと明らかにした。小銃の射撃や解体、組み立てについても学んでいたという。

山上容疑者は今年5月まで、大阪府内の人材派遣会社に在籍し、京都府内の倉庫でフォークリフトを運転していた。

安倍氏は銃撃を受けた当時、参院選奈良選挙区に立候補している候補の応援のため演説中だった。警察関係者によると、安倍氏に向けて少なくとも2発が発射されたという。

現場で心肺蘇生処置が行われ、ドクターヘリで県立医科大付属病院に搬送された。病院によると、到着時には心肺停止状態で、首の2カ所に銃による傷があり、一部が心臓に達していた。死因は失血死だった。

現場では朝日新聞記者も取材をしていた。安倍氏が街頭演説を始めてから数分後、安倍氏の後ろ側から銃声のような音が上がった。安倍氏の背後には、シャツと長ズボン姿で眼鏡とマスクを着用した山上容疑者が銃のようなものを手にして立っており、破裂音がさらにもう1度鳴った。その後、安倍氏は倒れ、胸元から血が出ていた。警護していた警察官が山上容疑者を取り押さえた。

自民党奈良県連は8日午後に会見。堀井巌参院議員は「昨日(7日)夕方に元総理の来県が決まった」と明らかにした。

街頭演説会場には、県警の警察官に加え、警視庁から派遣された警護員(SP)もいた。警察庁幹部は警備態勢が十分だったか検証する考えを示した。

2面＝政権に影響必至
3面＝安倍氏の足跡
4面＝評伝
8面＝海外の反応
11面＝経済界は
13面＝御厨さんに聞く
17面＝五輪関係者悼む
30面＝現場は
32・33面＝聴衆の眼前

岸田首相「卑劣な蛮行」

岸田文雄首相は8日夜、首相官邸で記者団に「卑劣な蛮行。断じて許せるものではなく、最も強い言葉で非難を申し上げる」と述べた。首相は同日、安倍氏の銃撃を受けて遊説先の山形県寒河江市から急きょ帰京。参院選の遊説などに出ていた閣僚も帰京させた。

その後、閣僚を集めた会議を官邸で開き、二之湯智・国家公安委員長らに自由で公正な選挙が安全に行われることを徹底するよう指示。二之湯氏は、警察庁長官に参院選での警備・警護の強化を指示した。